

●在英日本商工会議所（JCCI）

1. 太田仁事務局長から、在英日本商工会議所の概要についてスライドを使用して以下のとおり説明。

（1）在英日本商工会議所は1959年に設立。戦後復興による経済成長と貿易自由化の推進を背景に、多くの日本企業が海外進出していた時期に設立された経緯から、経済・貿易関係の推進及び日本企業の利益の伸張・擁護が目的となっている。その他、現在では日本企業並びに日系企業、及び政府関係機関等、会員間のネットワークや情報共有も目的としている。現在の会員数は357社。中小企業のほか、大手企業も会員になっている。

（2）主な活動のうち、起業家及び中小企業にとって有益なものとしてセミナーの開催がある。主催・共催・後援を含め年間70～80回程度開催しており、法務や税務、人事に関するものが多数開催され、大半が会員であれば無料で参加可能。これにより情報収集や会員企業間のネットワークの機会としていただくことが可能。

（3）業種別に17の部会を構成しており、各部会から1～2名の理事を選出。ユニークな部会として「英国起業部会」があり、業界の枠を超えて「英国で起業した企業」で構成され、現在、会員の約1割が所属。部会独自に定期的会合を開催し、メンバー間の親睦に加え、起業家同士の意見交換・相談の場となっている。

2. 続いて、クラウリー利恵「英国起業部会」理事（Pointblank Promotions 社 CEO）から、自身の経歴及び英国での起業経験、ウェビナーの案内につき、スライドを使用して以下のとおり説明。質問や相談があれば気軽に問合せ願いたいとした。

（1）グラフィックデザイナーとして働いた後、2015年にPointblank Promotions社を設立。それまでのグラフィックデザインの知識と経験をマーケティングに落とし込んだ新しい切り口のブランディングを強みとし、2017年には、落語家・桂三輝のウエストエンド・ニューヨーク公演のプロデュースを成功させ、会社の基礎を築いた。

（2）日本の文化や商品をもっと英国の人々に紹介していきたいという思いから、会社を設立。グラフィックデザイナーとして培った市場の求めている感覚や流行を察知する能力と、日本人としての感覚及び現地感覚を活かし、日本企業のサポートをしたいと考えたが、マーケティングは独学で、無名の主婦に仕事を依頼する企業は皆無。その課題を克服するため、「Guilty Noodle プロジェクト」という、日本のインスタントヌードルを英国の若者へ刺さるようなマーケティング及びブランディングにより、いかに盛り上げることができるかのチャレンジを行った。これがメディアの目に留まり、自社の知名度向上とマーケティングの自信獲得に繋がった。また、外注管理やパートタイムスタッフの管理の難しさなどを学び、実践学習としてのビジネススキルの獲得に繋がった。

（3）英国でビジネスを行った経験から学んだことは、スタートアップ同士の繋がりや信頼できるビジネス仲間との出会い、インパクトのあるプロジェクト、幅広い年齢・分野の人々との交流の重要性である。

（4）少しでも多くの人々に英国でのビジネスに興味を持っていただくため、2～3ヶ月に一度、定期的にウェビナーを開催（商工会後援イベント）、英国市場に関する最

新情報や英国でのビジネス経験などの情報を提供している。次回は7月30日に、Dojima Sake Breweryの橋本清美氏（英国で初めてSAKE（日本酒）の醸造所を設立し、フォーダムアビーで日本文化を海外へ広める活動を行う女性起業家）をゲストスピーカーとして開催予定。9月には3CS弁護士事務所の三富博子氏をゲストスピーカーとし、自身の会社設立の経緯や英国でのビジネスについてお話いただく予定。来年には「リアル」の交流会をロンドンで開催し、英国で起業している人々と対面できる場を提供する予定。是非こうしたイベントに参加いただければ幸い。

（5）併せて、「現在、英国のロンドンに日本女性の企業家のネットワークはあるのか」との事前にいただいた質問については、例えば、在英日本商工会議所の英国起業部会では女性起業家の方々も活躍しており、部会の会合や個別の交流会を通じて情報交換やネットワーキングを行っている。ロンドンにおける日本人の起業家自体が多くはないため、組織を作って集まるほどではないが、それぞれ個別に集まっている。

（了）